［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

4
2012 No. 696
平成24年４月１日発行



■**特集**
平成24年度当初予算

■**ピックアップ・緑のふるさと協力隊活動報告**
鮫川村の暮らしを振り返って

■**ほっとニュース**
村内小・中学校で卒業証書授与式
むし歯のない子 ほか

［表紙写真］
みんな笑顔で／鮫川小卒業証書授与式（３月23日）

全会計総額41億105万円

特集 平成24年度当初予算

むらづくり

放射能汚染の克服と自然環境の再生へ向けて



平成24年度の村づくりがスタートしました。村では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染により受けた深刻なダメージの克服を最優先に、限りある財源を有効に活用しながら、第３次鮫川村振興計画の目標を実現するため、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度の予算は、一般会計が平成23年度より3.0％減の27億9,300万円、特別会計が0.2％減の13億805万円、総額41億105万円となりました。

主な事業は広畑団地建替事業や携帯電話等エリア整備事業、新規事業として除染対策事業、太陽光発電設備設置補助金事業を、国や県からの補助金を有効に活用しながら事業を進めていきます。今月の特集は、平成24年度当初予算の概要をお知らせします。（今年度実施する予定の事業については４ページおよび５ページに掲載しています。）

一般会計 歳入

地方交付税が増え 歳入全体の51・8％に

一般会計の歳入で最も多いのは、地方交付税の14億4777万円（前年度比591万円、0・4％増）で、歳入全体の51・8％を占めています。地方交付税を含めた依存財源のうち、前年度より大幅に減少したのが、県支出金（県からの補助金など）で、前年度より6613万円（17・7％）の減となりました。これは、平成23年度に比べ、県の補助金を活用した普通建設事業などが少なくなったためで、県支出金の次に減少の幅が大きい村債（2920万円、9・0％の減）も同じ理由となっています。

一方、自主財源は、全体としては前年度よりわずかに減少し、4億7207万円となりましたが、自主財源のおよそ半数を占める村税は、前年度とほぼ同額の2億4520万円（145万円、0・6％増）となりました。また、諸収入が23・0％増加したのは、松くい虫防除のための費用などの増によるものです。

一般会計 歳出

民生費が8・7％伸び 目的別のトップに

歳出のうち、目的別でみると民生費がほぼ前年度と同額の5億8776万円で最も多く（全体の21・1％）、総務費（16・2％）、農林水産業費（14・2％）、公債費（12・3％）と続きます。昨年よりも農林水産業費が大幅に減ったのは、平成21年度より八斗蒔地内に整備を進めてきた豊かな土づくりセンターが完成したことによるものです。

また、昨年発生した東日本大震災や台風15号により被災した村道や林道などの復旧事業を23年度から引き続き実施するため、災害復旧費が増加しています。

次に、性質別では人件費（23・4％）、物件費（15・7％）、補助費等（13・7％）と続き、最も多く増えたのは災害復旧事業費となっています。反対に減ったのが普通建設事業費で、前年度に比べ1億7747万円（34・0％）の減となりました。これは、これまでに国から交付された臨時交付金を活用して行ってきた施設や道路などの整備事業がひと段落したためです。

【用語解説】■自主財源…村税（村県民税や固定資産税など村の税金）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。■依存財源…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。■地方交付税…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の２つからなる。■繰入金…各種基金から繰り入れるお金。■村債（地方債）…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

■会計別予算の状況

会計別		予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計		27億9,300万円	△8,500万円	△3.0
特別会計		13億805万円	△232万円	△0.2
国民健康保険	事業勘定	4億7,720万円	△1,850万円	△3.7
	直診勘定	7,930万円	△160万円	△2.0
簡易水道事業		1億1,672万円	67万円	0.6
村営バス事業		701万円	△55万円	△7.3
集落排水事業		3,079万円	△66万円	△2.1
介護保険		4億2,776万円	3,351万円	8.5
交流施設		1,375万円	△99万円	△6.7
学校給食センター		1億2,047万円	△1,479万円	△10.9
後期高齢者医療		3,505万円	59万円	1.7
予算総額		41億105万円	△8,732万円	△2.1

■歳入予算の状況（一般会計）

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	4億7,207万円	17.0	872万円	△1.0
村税	2億4,520万円	8.8	145万円	0.6
繰入金	1億2,119万円	4.3	△552万円	△4.4
使用料及び手数料	3,641万円	1.3	159万円	4.6
諸収入	3,474万円	1.3	650万円	23.0
その他①	3,453万円	1.3	470万円	15.8
依存財源	23億2,093万円	83.0	△9,372万円	△3.9
地方交付税	14億4,777万円	51.8	591万円	0.4
県支出金	3億795万円	11.0	△6,613万円	△17.7
村債	2億9,430万円	10.5	△2,920万円	△9.0
国庫支出金	1億9,486万円	7.0	48万円	0.2
その他②	7,605万円	2.7	△478万円	△5.9
計	27億9,300万円	100.0	△8,500万円	△3.0

※その他①＝分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

■目的別歳出予算の状況（一般会計）

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億8,776万円	21.1	79万円	0.1
総務費	4億5,370万円	16.2	1,436万円	3.3
農林水産業費	3億9,771万円	14.2	△1億1,353万円	△22.2
公債費	3億4,365万円	12.3	△653万円	△1.9
衛生費	2億7,335万円	9.8	722万円	2.7
教育費	2億5,659万円	9.2	1,194万円	4.9
土木費	1億9,476万円	7.0	△2,746万円	△12.4
消防費	1億1,040万円	4.0	△449万円	△3.9
災害復旧費	6,661万円	2.4	6,646万円	43,437.9
議会費	5,638万円	2.0	△725万円	△11.4
その他	5,209万円	1.8	△2,651万円	△33.7
計	27億9,300万円	100.0	△8,500万円	△3.0

※その他＝商工費、災害復旧費、予備費

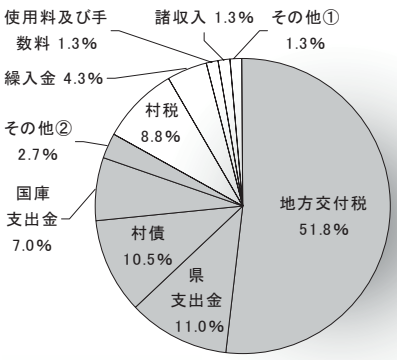
■性質別歳出予算の状況（一般会計）

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億5,387万円	23.4	△154万円	△0.2
物件費	4億3,911万円	15.7	1,949万円	4.6
補助費等	3億8,160万円	13.7	△806万円	△2.1
普通建設事業費	3億4,434万円	12.3	△1億7,747万円	△34.0
公債費	3億4,365万円	12.3	△653万円	△1.9
繰出金	3億1,924万円	11.4	486万円	1.5
扶助費	1億7,759万円	6.4	△1,419万円	△7.4
災害復旧事業費	6,661万円	2.4	6,646万円	43,437.9
その他	6,699万円	2.4	3,198万円	91.4
計	27億9,300万円	100.0	△8,500万円	△3.0

※その他＝道路補修費、積立金、貸付金、予備費

歳入

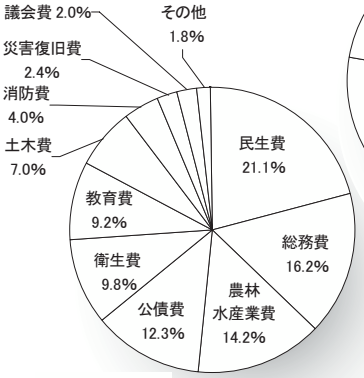
一般会計



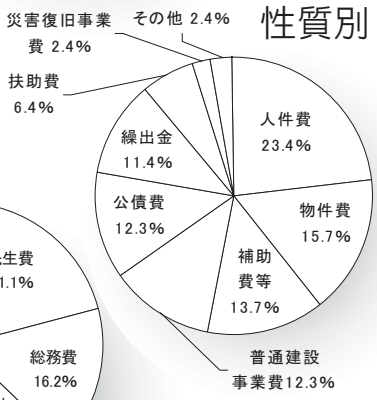
■依存財源 83.0%
□自主財源 17.0%

歳出

一般会計



目的別



性質別

特別会計

全会計合わせて23年度とほぼ同額に

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために予算を分けて独立して設けた会計をいいます。

村には、農業や商工業などの自営業者などが加入する「国民健康保険」（保険事業を運営する事業勘定と診療所を運営する直診勘定の2つからなります。）のほか、水道を供給する「簡易水道事業」、村営バスあおぞら号を運行する「村営バス事業」、中心部の下水処理を行う「集落排水事業」、介護保険事業を行う「介護保険」、ほっとはうす・さめがわを運営する「交流施設」、学校給食を提供する「学校給食センター」、高齢者が加入する「後期高齢者医療」の8つの会計があります。

特別会計全体の総額は、前年度とほぼ同額（前年度比232万円、0・2％減）の13億805万円となり、このうち前年度に比べ最も増減が大きかったのは、学校給食センター特別会計の10・9％減となりました。

【用語解説】■人件費…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。■普通建設事業費…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。■補助費等…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。■物件費…委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金。■公債費…村債の元利償還金。■繰出金…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。■扶助費…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。■維持補修費…道路や公共施設などの補修に使われるお金。

使いみち

第３次鮫川村振興計画
【まめな暮らしを生かした村づくり】

H24予算

第３次鮫川村振興計画に基づく各分野のお金の使いみちをお知らせします。

Vision1　＜農村の再生ビジョン＞

地域資源の活用を「まめ」に

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

①環境と健康を食べる

- 農産物加工・直売所運営事業（施設管理委託、アンテナショップ開設委託、耐震補強工事など）　2,467万円
- まめで達者な村づくりプロジェクト事業（アイディア料理コンテスト・郷土料理を楽しむ会開催など）　74万円
- ゆうきの里づくり事業（有機栽培推進、学校給食米栽培奨励、野菜冬季出荷対策、青じそ振興【新規】など）　393万円
- 中山間地域等直接支払交付金　1億434万円
- 豊かな土づくりセンター運営事業（施設管理委託、機械保管庫整備など）【新規】　2,582万円

②農村の景観と文化を生かす

- 交流施設運営（交流施設特別会計繰出金）　480万円
- グリーン・ツーリズム推進事業（体験モニターツアー、農家民宿開業補助など）　93万円
- 農村交流施設（山王の里）管理委託　84万円
- 東京農大連携事業　69万円

Vision2　＜農村の環境ビジョン＞

農村の景観の維持と活用を「まめ」な暮らしで

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

①道路網・道路環境の整備

- 農道整備事業（大久保農道）　220万円
- 林道整備事業（林道東前田線【新規】、ふるさと林道）　1,992万円
- 村道・橋りょう維持管理事業（除雪作業、道路環境美化、維持補修工事、日陰林伐採、原材料支給など）　1,903万円
- 村道新設改良事業（馬場後田中線、遠ヶ竜戸草線）　4,270万円

③公園・緑地の整備

- 舘山公園整備事業（法面保護工事、記念植樹用苗木購入、草刈作業委託など）　330万円
- 真坂農村公園東屋改修事業【新規】　100万円

④水環境・環境の保全と再生

- 簡易水道事業（簡易水道特別会計繰出金）　5,320万円
- 不法投棄物巡回指導員設置事業　227万円

⑤水を大切にし、環境に配慮した排水の処理

- 浄化槽設置整備事業（浄化槽15基設置など）　717万円
- 集落排水事業（集落排水事業特別会計繰出金）　2,116万円

⑥地球温暖化の防止

- 太陽光発電設備設置補助金【新規】　240万円
- 森林環境税交付金事業（森林環境学習など）　476万円

⑦放射性物質除染対策

- 除染対策事業（木の葉回収委託、住宅用地除染、線量低減化活動支援事業補助金）【新規】　1,255万円

⑧その他

- 東白衛生組合・東白斎苑負担金　6,750万円

▶①４月にオープニングセレモニーが予定されている鹿角平観光牧場内のクロスカントリーコース。陸上関係者の利用や村民の健康づくり拠点としての利用が期待される。▶②建替えが進められている広畑団地。24年度に木造平屋建て２棟７戸を整備し事業完了となる。▶③23年度から一部を繰り越して整備が進む豊かな土づくりセンターは、24年度から運営を開始し、良質な堆肥を製造する。▶④携帯電話の不通話地域の解消を図るため進められている基地局設備の整備事業。24年度は荻ノ沢地区に14.9m、青生野地区に40mの鉄塔施設が整備され通話可能地域がさらに広がる。(写真は23年度整備の前折戸地区の鉄塔施設)









Vision4　＜農村の人づくりと産業ビジョン＞

人づくりと地域産業の育成を「まめ」に

地域から世界を見ることができる人材を育成し、
消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

①学校教育の充実
- ●青生野小グラウンド水洗トイレ設置工事　247万円
- ●鮫川小受水槽改修工事【新規】　560万円
- ●英語力向上対策推進事業（小学生宿泊研修）【新規】　189万円
- ●スクールバス運行事業　1,413万円
- ●学校給食事業（学校給食センター特別会計繰出金）　2,874万円

②生涯学習の充実
- ●放課後児童クラブ運営　327万円
- ●社会体育奨励費（体育激励金、村体育協会およびふくしま駅伝大会実行委員会への補助など）　283万円
- ●西山村民体育館耐震補強工事　3,450万円

③安心安全、顔の見える農業の振興
- ●大豆振興対策事業（栽培者研修、生産奨励補助金など）　1,212万円
- ●大学連携試験研究事業【新規】　109万円

④ふるさとの森を守り育てる
- ●松くい虫防除対策事業（被害木調査・伐倒駆除）　421万円
- ●森林整備地域支援交付金事業　465万円

⑤商工業の振興、雇用機会の確保
- ●緊急雇用創出基金事業（生活関連施設除染作業、農林産物モニタリング、健康管理調査）　1,204万円
- ●商工会支援事業（商工会への補助金）　403万円

⑥村の特徴を活かした観光
- ●観光振興事業（うまいもの祭り補助金、江竜田農村公園管理、ふるさとの四季カレンダー作成など）　396万円
- ●クロスカントリー事業（コース管理、ＰＲ活動など）　164万円
- ●鹿角平観光牧場施設管理事業　161万円

⑦その他
- ●議会活動費（議員報酬、議会だより編集など）　4,701万円
- ●地方振興費（各行政区長等報酬、行政区への補助金など）　1,539万円
- ●地籍調査事業（大戸中第４地区）　210万円
- ●検証測量事業（未認証地区）【新規】　2,501万円
- ●土地改良区換地地区再調査事業【新規】　549万円
- ●過年度公共土木施設災害復旧事業【新規】　5,014万円
- ●過年度農林水産業施設（農業・林業施設）【新規】　1,380万円
- ●公債費償還（借入金返済）　3億4,365万円

Vision3　＜農村の暮らしビジョン＞

生活安心を「まめ」な協力で

みんなが安心して生活できる村の実現

①安心生活ができる公共交通づくり
- ●地方バス路線維持対策事業（福島交通バス補助金２路線、村営バス特別会計繰出金）　1,040万円
- ●通学定期券補助事業　130万円

②安心生活を支える情報
- ●携帯電話エリア整備事業（荻ノ沢、青生野地区）　8,977万円

③多様な暮らしの工夫
- ●広畑団地建替事業　9,111万円
- ●前田団地改修工事（サッシ交換など）　300万円

④火災と災害への備え
- ●非常備消防費（消防団員報酬、公務災害補償など）　2,258万円
- ●消防施設整備事業（小型動力ポンプ付積載車ほか）　1,375万円
- ●広域消防運営費（白河地方広域圏常備消防負担金）　6,691万円

⑤安心安全の地域づくり
- ●交通安全・防犯対策事業（交通教育専門員設置、交通安全用品購入、防犯灯設置・修繕ほか）　359万円

⑥安心生活ができる保険・医療･福祉の充実
- ●住民健康診査事業（健診業務委託など）　1,918万円
- ●予防接種事業（インフルエンザ予防接種など）　796万円
- ●村民保養施設運営委託　1,000万円

⑦安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実
- ●社会福祉協議会活動費補助金（法人運営）　2,345万円
- ●高齢者生活支援事業（在宅高齢者お助け事業、紙おむつ給付、緊急通報システムなど）　855万円
- ●敬老祝金支給事業・敬老会開催　600万円

⑧子育て支援体制づくり
- ●こどもセンター運営事業（施設管理、通園対策、子育て支援、保育園・幼稚園運営）　6,590万円
- ●子ども手当および子どものための手当【新規】　6,377万円
- ●乳幼児紙おむつ給付事業（月5,000円）　366万円
- ●出産祝金支給事業（50,000円）　165万円
- ●乳幼児・妊産婦医療費助成事業　1,379万円

⑨障害者の支援体制づくり
- ●障害者福祉事業（障害者自立支援給付費、地域生活支援、補装具給付、鮫川福祉会への補助など）　8,587万円
- ●重度障害者支援事業（重度心身障害者医療費など）　856万円

村民１人あたりに使われるお金は688,609円（前年度比4,884円減）です。

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	144,911円（3,472円増）	教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	63,262円（4,310円増）
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	111,860円（5,995円増）	土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	48,018円（5,529円減）
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	98,054円（25,134円減）	消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	27,218円（466円減）
公債費	地方債（村の借入金）を返済するためのお金	84,727円（344円増）	災害復旧費	災害により被災したさまざまな施設を復旧するためのお金	16,423円（16,386円増）
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	67,393円（3,265円増）	その他	商工業の振興、雇用確保、議会運営などのためのお金	26,742円（7,528円減）

※一般会計のみ。H24. 3. 1現在の人口4,056人で計算。

ピックアップ
PICK UP

鮫川村の暮らしを振り返って

緑のふるさと協力隊活動報告（写真・文／原倫子）



緑のふるさと協力隊として昨年４月に鮫川村にやってきた原倫子さん。３月15日、無事１年間の活動を終え旅立ちました。

広報さめがわでは、毎月「ふくふくの縁」と題して、彼女の鮫川村での体験記をご紹介してきました。今月号では、１年間の活動をまとめた報告書が完成しましたのでご紹介します。

彼女の目には鮫川村がどのように映ったのでしょうか。

自給力があるということ

私が村に来た時は、東日本大震災のちょうど1か月後でした。とても地震があったとは思えないほどの穏やかな様子でした。ガソリンの調達に苦労したようですが、直売所には品物があり、各家庭でも食料には心配なかったという話を聞きました。生きていくうえで、最も必要な食物を自分で作り、蓄えておくことができる農山村の自給力が見直された年ではなかったかと思います。

春は山菜、秋はキノコ類などの季節に沿って自然の恵みをいただく知識、長い経験で得たおいしい野菜や米を作る技術やコツ、それを漬物や塩漬け、乾燥して保存する智恵。生活に必要なかごや道具、紙などは自然界から素材を見つけて、作り上げていく技術。ゼロから作っていく「力＝自給力」は、何があっても大丈夫だというゆるぎなさがありました。また、鍬や鎌をもつ姿や束っつら作り、シノミ使いなど、あざやかな手さばきや身のこなし方が、とても美しくて美しくて、一つの技だと思いました。失われたくない技だと思いました。

結いの心を知る

自分の蕎麦畑をもつことになりました。四方の土手や畑の草刈りから始まりました。汗をかいては休み、汗をかいてはボーと、青い空や風で揺れる木々を見ながら一日かけてしました。覚えたての草刈機が楽しかったのと、自分の畑がもてる喜びでいっぱいでしたが、日が暮れるにつれて、独りで農業をした「長く感じた一日」のもの寂しさをちょっぴり味わいました。

鮫川村は、3種類の蕎麦がポピュラーです。福島県奨励品種の「会津のかおり」「在来種」「信州大蕎麦」です。私は、初心者ということで育てやすい信州大蕎麦を蒔きました。台風後には、倒れていないか心配して見に行き、白い花が一面に咲いた時は心が躍りました。

収穫は、鎌で手刈り。本当に終わるのだろうかと不安になっていました。朝、畑に行くと1人の女性が鎌で蕎麦を刈っています。「本当に来てくれたの









だ」とジーンと胸に響きました。以前から畑の前で会うと、「収穫の時は手伝うからね」と声をかけてくださっていた近所の方。私のような仕事でなく、体験学習程度の農作業に、本当に手伝いに来てくださったのです。「ばあちゃんも来るからね」また1人増えました。私と近所の方4人で、黙々とやっていると、「どうだぁい」と同じ地区の男性が通りかかりに寄ってくださいました。見るに見かねたのか、気がつけばその男性も、干し掛け場を木で組んで、せっせと蕎麦を運んでくれていました。また1人増えて、計5人で何とか終わることが出来ました。辺りは、もう暗くなり始めていました。

どの方々も、「結いだから」と当たり前のようにおっしゃいました。「結い」とは、田植えや収穫の人手がいる時に、お互いに協力する習慣のことです。とても助かりました。結いの心を身をもって教わりました。後ろを振り向けば、私のために腰を曲げて、せっせと働く4人の姿が今でも忘れられない一日となりました。



達者な現役

村内のさまざまな農作業を体験させていただいて、田や畑でハツラツと働く80歳代を見て驚きました。私が今まで暮らしていた環境では、70歳代はまだまだ動き廻れる歳だと思っていましたが、80歳代になってもしっかり農作業をする「達者なお年寄り」を見たのは、初めてでした。そして、話をしてみても村づくりの意識が高くて、社会感覚をもっていらっしゃる。頭も体も「達者な現役」なのです。多くの方が、人口が減っていくことを問題にしていました。そこから「人が住み続けたくなる村へ。人が帰ってくる村へ。人が集まってくる村へ…。」それぞれの意見をきちんと持っていらっしゃいました。平成16年から始まった「まめで達者な村づくり」。それ以前は、病院がサロン状態だったと聞きましたが、とても想像ができません。村外の方も、「まめで達者な村づくり」以降は、県内でも目立つ村になったと言っていました。私は、病院や施設で治療や介護を受けるお年寄りしか知りませんでした。村で一年間生活してみて、本来の80歳代の健康な普通の暮らしをやっと知ることができました。福祉において、自立支援の考えは中心となっています。自立した村づくりは、高齢者の本当の意味での自立支援になっていることを学びました。現代の都会の方は、核家族で育った人が多いと思います。きっと私のように、病院や施設での弱くなっているお年寄りしか知らないという人は多いと思います。実はそうでないんだよ。達者な姿、こちらが本来の80年間生きた人の姿なんだよ、と教えてあ








①地域サロンは、高齢者が歩いて集まれる顔なじみの範囲で、集いの場を持ちましょうというもの。これは、地域のボランティアの方々が社会福祉協議会から予算をもらって運営しています。現在、二反田（ここがサロンの始まり）、折戸、落合、新宿、ひだまり荘の5地域で行っています。年々、歩いて集まれる範囲内では、参加するお年寄りの数が揃わないことや、車での送迎が必要になってきたこともあり、実施する地域が減ってきています。私は、毎月行われていた折戸サロンに参加させていただきました。ちょっとそこまでお茶を呑みに行く、という感覚で集まれるのが良いと思いました。そして、来ない時は、ちょっと呼んでくるねと様子を見に行くことができるところが、また良いと思いました。長年、同じ地域で暮らしてきた顔なじみだけの、気負いのない安心感がある集まりでした。



②地区高齢者支援事業は、年3～5回（敬老会を含む）各大字地区で行うものです。各地区の役員や民生委員、食生活推進員、保健推進員などの協力で開催されています。担当は住民福祉課です。ちなみに、西山地区「いきいき大学」、赤坂西野地区「つくし会」、赤坂中野地区「元気会」、東石地区「ドライフラワーの会」、富田地区「ふれあい教室」、渡瀬地区「福寿草の会」、青生野地区「すいせん会」とそれぞれ名前が違います。「そんな会には入ってないから・・・。」という声もあるそうですが、該当の大字地区に住んでいれば誰でも参加できますので、ぜひご出席ください。

③筋力づくり教室は、A～Eコースに地区を分けて、月1・2回行われます。村の保健師さんが計画を立て、保健センターの保健師さんが計画

げたい気持ちです。高齢化が進む社会で、生きていく若い世代にも、上手に歳を重ねていったたくましい先輩たちの姿を見に来てほしいと思います。

まめで達者な後は…。

多くの行事に参加させていただいて、地域のボランティアが積極的で福祉活動が充実していると思いました。まず、高齢者の介護予防とコミュニティづくりとして①地域サロン②地区高齢者支援事業③筋力づくり教室がありました。











PICK UP 鮫川村の暮らしを振り返って（緑のふるさと協力隊活動報告）

で行われています。昼食や体操、クラフトなどの楽しくて介護予防になるプログラムが組まれています。どれも参加してみて、健康な方のデイサービスという感じを受けました。だからいざ介護が必要になり、介護保険を利用したデイサービスへ通うことになっても、抵抗が少なくいけるのではと思いました。その他に、介護予防調査により選出された対象者に対して行う元気づくり教室やはつらつ教室もあるそうです。

村の高齢化率は30・2％で、高齢者の一人暮らし世帯は73世帯（平成24年3月現在）ありますが、傾聴ボランティアが訪問したり、富田地区では、元気支援隊が元気新聞を月1回区内に配りながら安否確認を行っています。また、赤十字奉仕団の一人暮らし慰問や寝たきり慰問で関わりを持っていました。

村内には福祉施設が2つあります。社会福祉協議会が運営する高齢者総合福祉センター「ひだまり荘」と社会福祉法人「みやぎ会」が運営する介護老人福祉施設「特別養護老人ホームさめがわ」「グループホームさめがわ」です。ひだまり荘は、在宅介護の拠点になっています。居宅介護支援事業、訪問介護、デイサービスとショートステイがあります。興味深かったのは、居住棟があったこと。ある程度自立している高齢者の一人暮らしの方が入居しています。部屋にはキッチンがあって自炊できるようになっていました。雪が降り、寒さの厳しい冬は道が閉ざされ、水道が凍結したりと生活に不自由が生じます。そういった時に、安心して生活できる場として建てられました。中山間の地域事情にあった形態だと思いました。また、福島県では初めての高齢者優良賃貸住宅も隣接しています。これは家賃や区費を払っていて、住宅扱いになっています。

特別養護老人ホームさめがわとグループホームさめがわは、旧西山小学校の廃校を利用して平成21年4月1日に開設しました。地域密着型の施設です。











地域密着型というのは、29床以下で鮫川村の人が優先的に入れるようになっています。もし、ベットが空き、他町村の方が入所する時は、住所を移すことなく、介護保険を元の町村で負担することを条件としています。全室個室でユニットケアがされています。ユニットケアとは、10人以下で生活の場を区切り、家庭的な雰囲気の中で介護生活が出来る形態です。各ユニットにキッチンや食卓があり、顔なじみのスタッフから介護を受けることができます。

鮫川のお年寄りは、まめで達者でなくなっても、最後まで愛着ある地で過ごせるような手厚い仕組みになっていることに感動しました。お年寄りが、どんな状態になってももれなく誰かが関われることになっている。それは、積極的に活動して支えているボランティアの方々、社会福祉協議会と施設が上手く連携をとっているからだと学びました。老いを安心して迎えることができるということは、高齢者だけでなく、どの世代にとっても「住み続けて良いんだ」という安心感にもなると思います。





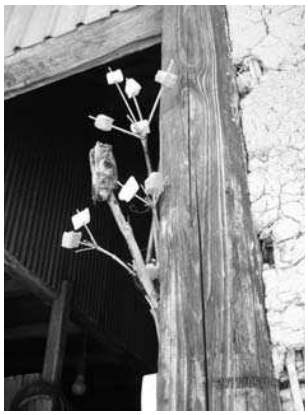
人のいる風景

鮫川村の風景は素晴らしく美しいです。四季の移ろいがあって、春は桜や菜の花が咲き、夏は清々しい緑に染まり、秋は黄金色に変わって、紅葉がきれいで、冬は雪の白さに感動しました。毎日が「きれいだぁ」と思っていました。農作業中に吹く気持ちの良い風、鳥の鳴き声、青い空など何もかも美しいと身体中で喜んでいたと思います。美しい景色だけでは、きっと通り過ぎてしまうでしょう。そこに溶け込んで生活する人や、何気なく歩く姿、田畑で働く姿があると一層深まります。そして、お話しすると温かみのある訛(なま)りが返ってくる。そうすると、記憶に残る美しい里山になります。私が目を閉じて思い出すのは、里山の美しい風景の中にある、村の人々の笑顔と温もりある声です。協力隊として村の魅力を発見する役目もあったのですが、村の宝は村の人々だと思いました。一年間、さまざまなことを体験させていただき、教えていただき、本当にありがとうございました。

感謝の気持ちでいっぱいです。









●1年間たくさんの方にお世話になりました（写真でご紹介［一部］）














「達者のしょうゆ」発売



左から150ミリリットル、１リットル、1.8リットル

村内産の大豆を１００％使用して作った「達者のしょうゆ」がこのたび、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で発売を開始しました。

「達者のしょうゆ」は、昔ながらの木製大桶で仕込み、一年余りの歳月をかけ、天然醸造で職人が丹精込めて作った醤油です。豊かな風味とコクをお楽しみください。

価格…１５０ミリリットル２３０円／１リットル５５０円／１・８リットル９５０円

■問い合わせ 村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎４９-２５５６



村内産大豆を使った「達者のしょうゆ」ぜひご賞味ください。

平成24年度より 介護保険料が変わります

介護

■問い合わせ 村総務課税務係 ☎４９-３１１１
村住民福祉課福祉係 ☎４９-３１１３

第１号被保険者（65歳以上）の方に納めていただく介護保険料は、３年ごとに見直しをすることになっています。これは、今後３年間村で必要な介護サービスの費用がまかなえるように保険料基準額を算出し、諮問機関である村介護保険運営協議会において審議され、村議会の議決を経て決定されます。

平成24年度から平成26年度の保険料は、高齢化率が年々上昇し、介護を必要とする高齢者も増えることから、基準額で月額４，１００円［改正前（平成21年度から23年度）は月額３，５００円］とし、６００円の増額となります。

高齢社会を支えていくためには、制度を安定的に運営していくことが必要であるため、皆さまの介護保険制度に対する一層のご理解とご協力をお願いします。

■保険料段階区分

所得段階	対象者	保険料率	保険率（月額）	保険料（年額）
第１段階	老齢福祉年金の受給者で、本人および世帯全員が住民税非課税の場合／生活保護の受給者	基準額×0.5	2,050円	24,600円
第２段階	本人および世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の人	基準額×0.5	2,050円	24,600円
第３段階	本人および世帯全員が住民税非課税で第２段階以外の人	基準額×0.75	3,075円	36,900円
第４段階	本人が住民税非課税（世帯内に住民税課税者がいる場合）	基準額	4,100円	49,200円
第５段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円未満の人	基準額×1.25	5,125円	61,500円
第６段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円以上の人	基準額×1.5	6,150円	73,800円

村職員人事

■**異動（４月１日付）**　※（　）内は旧所属

[課長職]

▶総務課長〔併任〕選挙管理委員会書記長（企画調整課長兼交流施設所長）**芳賀亨**▶農林課長兼振興公社準備室長〔併任〕土地改良区事務局長派遣（住民福祉課長）**佐藤文夫**▶企画調整課長兼交流施設所長（総務課長補佐）**石井哲**▶住民福祉課長（住民福祉課長補佐）**鈴木眞理子**

[課長補佐職]

▶企画調整課長補佐（企画調整課長補佐兼国土調査係長）**鏑木重正**▶教育課長補佐兼公民館副館長（診療所事務長）**鈴木守弘**▶学校給食センター所長（企画調整課企画振興係長）**石井智子**▶総務課長補佐〔併任〕議会書記（総務課財政係長兼出納室主任主査）**渡邊敬**▶住民福祉課長補佐兼健康係長（住民福祉課健康係長）**村山通子**

[係長職]

▶教育課生涯学習係長兼公民館係長（教育課生涯学習係長兼公民館副館長）**大河内由夫**▶企画調整課企画振興係長（学校給食センター所長心得）**舟木正博**▶総務課財政係長（住民福祉課福祉係長）**矢吹かおり**▶診療所事務長（地域整備課環境係長）**齋藤利己**▶企画調整課商工観光係長兼交流施設係長兼振興公社準備室主任主査（企画調整課商工観光係長兼交流施設係長）**我妻正紀**▶住民福祉課福祉係長（住民福祉課住民係主査）**船木博枝**▶企画調整課国土調査係長（企画調整課国土調査係主査）**長久保仁一**▶地域整備課環境係長（教育課教育総務係主査）**青戸秀樹**

[主査職]

▶住民福祉課福祉係専門保健師（住民福祉課健康係専門保健師）**鈴木芳子**▶住民福祉課健康係専門保健師（住民福祉課福祉係専門保健師）**蛭田みゆき**▶住民福祉課住民係主査（農林課農政係主査）**矢吹智広**▶住民福祉課健康係専門看護士（診療所専門看護士）**前田甲子**▶住民福祉課福祉係主査（住民福祉課福祉係主任主事）**水野亮達**

[主任主事職]

▶農林課農政係（企画調整課企画振興係）**須藤尚紀**

[主事職]

▶企画調整課商工観光係兼企画振興係（総務課税務係）**水野克哉**▶企画調整課企画振興係兼商工観光係（企画調整課商工観光係兼企画振興係）**前田静香**▶総務課税務係（振興公社準備室）**菊地弘倫**

■**新採用（４月１日付）**

▶さめがわこどもセンター保育士・幼稚園教諭
生田目真由美　岡部和彦　関根静香

■**退職（３月31日付）**

▶**鈴木治男**（総務課長）▶**森洋**（農林課長）▶**本郷まさ子**（振興公社準備室主幹兼室長）

第４回

鮫川村フォトコンテスト

■**テーマ**
鮫川村の四季を感じる風景
※村内の美しい風景や農村景観、年中行事などを撮影したもので、季節感があり、カレンダー使用にふさわしいものを募集します。

■**作品受付**
平成24年11月中旬予定

■**表彰**
特選（１点）…賞金５万円／準特選（２点）…３万円／入選（９点）…１万円／佳作（５点）
※１月から12月までの月ごとに、入選作品を選びます。
※入選作品につきましては、後日原版（銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はＪＰＥＧ形式で保存したＣＤ）を提出していただきます。

■**撮影地域**
鮫川村内に限ります

■**応募規格**
カラー四つ切、ワイド四つ切またはＡ４版の横版で、平成23年１月１日から平成24年12月　日までの間に撮影したもの

■**応募資格および条件**
・居住地（村内・村外）、プロ・アマは問いません
・応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
・応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。
・応募作品は、本コンテストおよび他のコンテストに応募されたものは除きます。
・入選作品は、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
・応募点数は１人３点までとし、入賞（入選）は１点とさせていただきます。

■**審査発表**
11月（予定）に審査し、入賞者に通知するとともに後日表彰式を行います。

■**問い合わせ**
村企画調整課☎４９-３１１５

４月23日は「こども読書の日」です

図書館に行こう

●村図書館（村歴史民俗資料館内）☎49−3106



読み聞かせの様子

４月23日はこども読書の日

「子ども読書の日（４月23日）」は、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的としています。

村民の皆さまへ

幼い時から話を聞く体験は、子どものことばと心の発達に大きく影響するだけでなく、豊かな人間性を育むうえでも重要です。

子どもたちが多くの本と出会い、自主的に読書を楽しめるようにするために、子どもたちはもちろん、村民の方もぜひ参加してください。

村子ども読書活動推進計画策定

村では、「鮫川村子ども読書活動推進計画（平成23〜27年度）」に

読み聞かせを通して感じたこと

大平　啓子さん(二反田)

ある日「ふる里の民話と伝説」という、小さな本を村の図書館で見つけました。

その本には、昭和48年、発行所：鮫川村公民館・発行者：金澤次男と書かれてありました。

その小さな本を手に、ページをめくると最初に書かれてあった昔話は「化身した黄金の鮫」でした。その他にも、村内の地名や石、神社にまつわる話がたくさん書かれてありました。

その時、「これだ！今子どもたちに伝えていかなければならないのは。」と思い、お話ポケットのメンバーに仲間入りさせていただき、現在、鮫川小学校の「読み聞かせ」の活動をしております。

子どもたちは絵本ではない「私の読む声」だけで物語を理解し、いつも瞳を輝かせて聞いてくれます。その姿に毎回私自身が感動させられております。わたしは、「むかしばなしのおばちゃんだ!!」とその声に今日も明るく返事をしています。

……

根本純子さん(写真)は、震災の影響で昨年３月から赤坂西野字前田にあるご実家に移住していました。移住してすぐに読み聞かせボランティアとして活動していただきましたが、４月からいわき市に戻るそうです。



鮫川村の子どもたちのために、１年間読み聞かせをしていただきました。

図書館においでください

村図書館では、４月21日・22日に、古い雑誌や絵本などを「無料で配布」いたします。

ご家族一緒に読む本を見つけにぜひきてください。また、図書館にない本で、ご自分が読みたい本がございましたらご連絡ください。図書館で購入します。

ご家族そろってぜひ図書館においでください。

ぼく・わたしのこの一冊



棚井　駿介くん
（青生野小６年生）
本の題名
「おれは　ティラノサウルスだ」
作者名：宮西　達也

この本は、小さなプテラノドンがあばれんぼうのティラノサウルスになりきって、動けなくなったティラノサウルスを助けるというとてもいいお話です。ぼくがこの本を選んだ理由は、あらすじを読んで興味をもち、どんなお話なのか続きを読みたくなったからです。強いティラノサウルスを小さな体のプテラノドンが助けたので、ぼくは、勇気を教えてもらいました。つらいことやくじけそうな人におすすめの一冊です。



藤田　琉那さん
（青生野小５年生）
本の題名
「あなたが生まれるまで」
作者名：ジェニファー・デイビス

私がこの本を選んだ理由は，お腹の中で私がどんなことをしていたのか、気になったからです。一番心に残ったのは、赤ちゃんがお腹の中で、足を動かして遊んでいたことです。この本は、あなたがお腹にいた時の本当のお話です。私もお母さんのお腹の中で、こうやって大きくなったんだなあと思いました。赤ちゃんの時のことを思い出したい人におすすめの一冊です。

基づき　地域における子どもの読書活動の実状などを踏まえ、学校、家庭、地域が一体となった子どもの読書活動推進に取り組んでいます。

また、「鮫川村子どもの読書活動推進委員会」を設置し、２月28日に開かれた委員会で、平成24年度は「毎月第３土曜日は、家族一緒に読書の日」を推進する取り組みが決まりました。

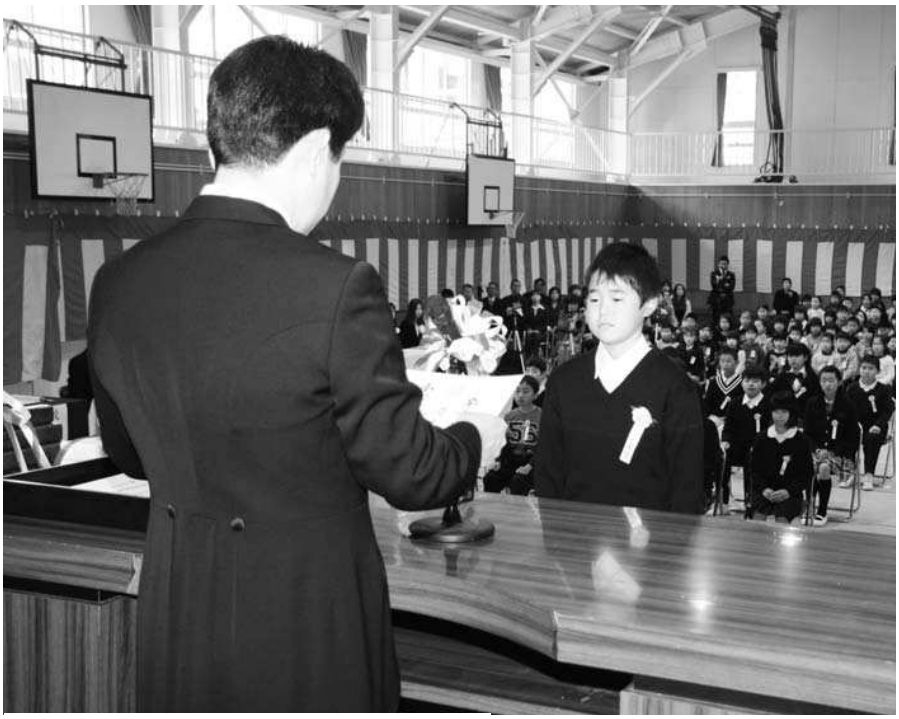
毎月第３土曜日は、家族全員で１冊の本を囲んで読書してみてはいかがでしょうか。

1 NEWS 思い出の学び舎を巣立つ
村内小・中学校で卒業式

村内小中学校の卒業式は、鮫川中が三月十三日、青生野・鮫川両小学校では、同二十三日に各校体育館で行われました。

このうち鮫川小学校では、三十一人（男子十五人、女子十六人）の児童が晴れて卒業。八代之宏校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

なお、鮫川中（佐藤勝久校長）では二十八人（男子十六人、女子十二人）、青生野小（石山公子校長）では四人（男子二人、女子二人）が、思い出多い学び舎を巣立ちました。


31人が巣立った鮫川小学校卒業式

2 NEWS むし歯のない子は8人
2月21日実施の3歳児健診

二月二十一日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十一人中八人でした（写真）。


矢吹　颯唯（そうい）くん
①赤坂西野字官沢／②父・靖弘さん、母・寿美子さん／③毎日、夜寝る前に仕上げみがきをがんばっています。これからも続けていきたいです。


小松　猛琉（たける）くん
①渡瀬字大戸中／②父・孝次さん、母・静香さん／③朝と夜の歯みがきをお兄ちゃんと妹と一緒にがんばってやりました。甘い食べ物や飲み物を控えるように気をつけました。


目黒　豪心（ごうしん）くん
①赤坂西野字本坂／②父・信一さん、母・扶美子さん／③大人みんなが関わることで、歯みがき忘れを防止しました。


関根　伊吹（いぶき）ちゃん
①西山字水口／②父・光樹さん、母・仁美さん／③食べたらすぐに歯みがきをするようにがんばりました。


藤森　光（ひかる）くん
①渡瀬字木之根／②父・隆之さん、母・あき子さん／③甘いおやつは与えないようにしました。


小林　穂乃香（ほのか）ちゃん
①赤坂中野字伏木田／②父・大介さん、母・真由美さん／③歯みがきが好きで仕上げみがきも嫌がらずさせてくれます。


山形　蓮（れん）くん
①青生野字江堀／②父・和彦さん、母・久美さん／③気分が乗らず「イヤッ」という日も「奥歯の1本だけ」の約束で毎日かかさず仕上げみがきをがんばりました。これからも"レノビーゴ"で歯の強化を続けたいと思います。


星　将貴（まさたか）くん
①赤坂西野字薮／②父・徹さん、母・喜子さん／③歯みがきを嫌がる時期もありましたが、歯ブラシをなげられてもめげずに夜の仕上げみがきをがんばりました。

①住所／②保護者／③むし歯にならないためにがんばったことなど

3 NEWS

思い出を胸に新たな旅立ち
県立修明高校鮫川校卒業証書授与式


25人が学び舎に別れを告げた卒業式

県立修明高等学校鮫川校の卒業証書授与式は三月一日、同校体育館で行われ、二十五人が学び舎を巣立ちました。

式では、卒業生一人ひとりに青山修身校長から卒業証書が手渡されました。青山校長の式辞に続き、来賓の大樂村長らが祝辞を述べました。

続いて、在校生を代表して芳賀慎治さんが送辞を、卒業生を代表して笹島千秋さんが答辞を述べました。

4 NEWS

放射能を考える
2回の放射能講演会を開催


放射能と健康について理解を深めた講演会

放射能に関する講演会が三月に二回、村公民館で開かれ、多くの村民が会場に訪れました。

農業に関する講演会は三月十四日、県県南農林事務所の職員二名を講師に農作物の作付などについて講演が行われました。

同二十四日には健康に関する講演会が開かれ、福島県立医科大学放射線科の宮崎真医師を講師に、放射能の基礎知識や人体への健康影響について理解を深めました。

5 NEWS

思い出いっぱい作ったよ
チャレンジスクール第9講座・閉講式


一生懸命もちつきをする子どもたち

村公民館事業「チャレンジスクール」第九講座および閉講式は三月三日、村公民館で行われました。

小学生約三十人が参加。講座では、中野長生会と食生活改善推進員ひまわりの会の会員が協力し、臼と杵を使って餅つきを楽しみました。昼食づくりにも挑戦し、楽しみながらついた餅をひし餅などにして味わいました。引き続き閉講式が行われ、一年間の活動を振り返りました。

6 NEWS

卒園児がダンスを披露
さめがわこどもセンターで幼稚園卒園式


菊地園長から園児一人ひとりに卒園証書が授与されました

平成二十三年度幼稚園卒園式は三月二十二日、さめがわこどもセンターで行われました。

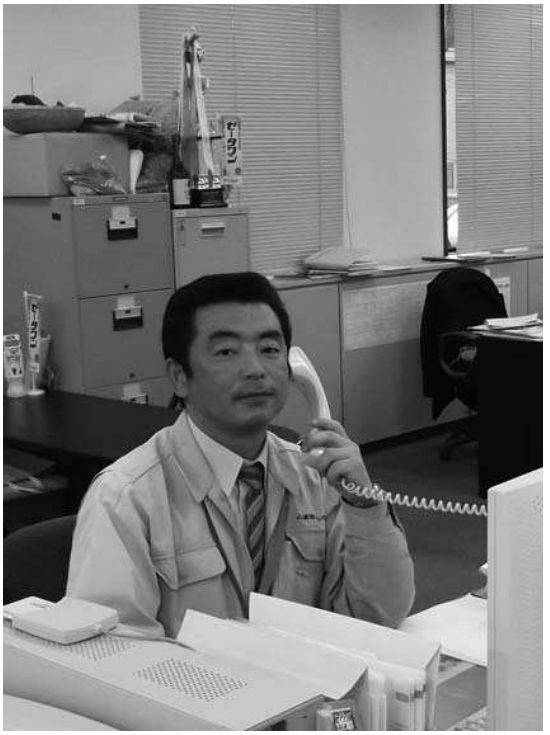
式では第一部として授与式が行われ、卒園児二十六人（男子十三人、女子十三人）の園児一人ひとりに菊地園長から卒園証書を授与。菊地園長、奥貫教育長があいさつ、大樂村長らがお祝いの言葉を述べました。

第二部では、卒園児らがダンスやうた、リズム運動を保護者の前で元気に披露しました。

みんなのページ

坂本　清美 さん
k i y o m i　S A K A M O T O

さかもと・きよみ●昭和40年４月生まれ。西山字岩野草在住。東西しらかわ農業協同組合本店勤務。趣味…海釣り。好きなこと…スポーツ。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
ＴＥＬ　0247-49-3115
ＦＡＸ　0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー (165)

あれから１年のある１日です

皆さんお久しぶりです（はじめまして！）。ＪＡ職員の鏑木くんからのバトンタッチで、同じＪＡ職員の坂本清美です。

突然ですが、大きく変わると書いて【大変】と読みます。昨年の三月十一日は大変な一日だったことを強く記憶しています。あの日以来、私の生活は皆様同様これまでに経験した事のない日々の連続でした。

あれから一年、今日の私は千葉県船橋市習志野台にて復興支援の一環として開催されている「花いっぱいＩＮ習志野台」で農畜産物風評被害払拭キャンペーンに参加し、東西しらかわ管内の農産物を販売してきました。商品を買って行かれる方々は口々に『頑張ってくださいね』と心暖まる言葉を掛けてくださいました。

震災後一年が経過しましたが、人々の支援の心は今もなお風化する事なく、ご支援を賜っています。その事を私は強く心に刻み生活しています。昨年の大震災を経て、私たちは、さまざまな物を失ったのかもしれません…ですが数多くの大切な物を得た事も事実、その中でも私は『人を思いやる心』の大切さを改めて実感させられました。

最後に人は人を思いやり支え合いながら生活しています。私はその事を決して忘れないように一日一日を歩んでいます。

…ちなみにその日のキャンペーン、商品は三時間で完売しました。

■次は、小松正三さん（富田字前沼）にバトンタッチ！

会で審査を受けてください。／所有者を変更した場合や登録証を紛失した場合など…①所有者が変わった場合＝県教育委員会に20日以内に所有者変更届を提出してください。／②登録証を紛失した場合＝遺失物届を所轄の警察署に提出してから、再交付申請書を県教育委員会に提出し、登録審査会で審査を受けてください。／③貸付（保管）を委託する場合…貸付（保管）委託届出書を20日以内に県教育委員会に提出してください。また、貸付などが終了した場合は速やかに終了届出書を提出してください。／問い合わせ…福島県教育委員会文化財課☎024-521-7787

●白河地方広域市町村圏整備組合統合のご案内　平成24年４月１日に白河地方広域市町村圏整備組合に西白河地方衛生処理一部事務組合と白河地方水道用水供給企業団が統合しました。／問い合わせ…白河地方広域市町村圏整備組合☎0248-22-1145

●平成24年度自動車税の定期課税について　平成24年度の自動車税は５月31日（木）を納期限として課税を実施します。自動車税は、毎年４月１日現在の自動車の所有者（割賦販売の場合は使用者）に課税される県税です。自動車を使用していない場合や他人に譲ったり廃車するなどで実際に自分が持っていない場合でも、３月末日までに管轄の運輸支局などで登録などの手続きを済ませていないと、引き続き元の所有者に課税されますのでご注意ください。／問い合わせ…福島県県南地方振興局県税部☎0248-23-1517

広報 文芸

卯月

俳句

小児ガン朝日の丘の桜咲く　中井　恒峯
作付けへ不安抱いて動き出す　北條　素人坂
降り止まぬ粉雪を眺め一日過ぐ　黒田　寿香
寒林にみそっちょもなき吠ゆく　土　竜庵
春の雪震災一年消えぬ傷　斎須　信子
娘らはしゃぎ雛を飾りし遠い日よ　鈴木　米子
冷えゆるむ辞書を片手に句作かな　小松　ハルエ
凍道をゆずり合ってる会釈かな　山本　恵子
屋根覆うブルーシートに春の雪　松本　精一
七回忌木々は纏える雪の花　前田　縫子
椅子の遺影よ呼名も空し卒業式　山本　五十鈴

短歌

今日の仕事明日に伸ばすなの金言を守りて夜なべもしたる嫁の日　坂本　雪絵
ブルーベリー小粒なれども大切に摘みて薬用ジャムにと作る　鈴木　イミ子
野菜の草　花物の草除きやり今日も天日の温かさ浴ぶ　前田　初
新しい米を炊き得て仏壇に供える今日は亡夫の年忌　遠藤　秀
昔懐かし炭焼きしたる窯跡に咲いて匂える山百合の花　佐藤　春枝
風邪引きてやや鈍かりし老の身に福音のごと友の訪ね来　柿沼　鯉乃
大雪の跡方もなく解けてゆく庭に流れる水光りおり　須藤　幸子
踏まれてもすぐ生き還る雑草の強さに惹かれ野道を歩む　水野　珠子
若さなどとうに失うわれなれどこれでは駄目と踏み出す一歩　関根　瑞恵
被曝にて子らに送れる米は無く忘れらるかもお袋の味　溝井　清乃
美味しいと言ってくれたる人がいて励みとなりぬ野菜作りは　坂本　伊紀
かつて無き除染作業も世界には先駆となるを心にしつつ　一　平子
どか雪の続く異常に負けまいと体調の維持に日毎気遣う　石井　幸子
淡雪も何時かな消えて老梅の蕾膨らみ花待つ盛りの　杉山　磯子
亡き母の愛せし機織トントンと織り成す姿帯び締め偲ぶ　須藤　シツエ
原子力安全神話どこいやら今に及んで悔いて栓なし　松本　一郎
幼少の三月節句が目に残る戦火に消えし愛しの江戸雛　前田　喜三子
活き活きと老い等が集う筋トレの細雪降る中号令響く　藤田　千代子
雪掃きに疲れし夜は眠られず犬の遠吠え不気味に聞こゆ　関根　ハナヨ
厳寒も去れば仄かな芽吹く春福寿草の花綿雪に映え　関根　富久
山登り記録のアルバム吾が宝白馬登山を懐かしく見る　鷲野谷　満
足早に歩ける人を羨みて今日ここまでと春浅き日を　板橋　源良
如月の夜のしじまに梟の声密やかに春を告げくる　関根　キヌ子
銀世界小鳥は餌場を無くしてか吾の与えし林檎を競いぬ　矢吹　一二
新たなる息吹と共に動きだす絆引き締め復興目指し　北條　平

ふくふくの縁 Vol.12

緑のふるさと協力隊・原倫子さんの鮫川村体験記です。

鮫川村の優しい人々へ

やっと雪が解けたと思ったら、また雪が降ってきて、その中に福寿草の黄色を見つけた時に「あぁ、もうすぐだ。」と思いました。こんなに春の訪れを深く感じたことはなかったと思います。

私が鮫川村に来たのは、昨年の４月11日。その日に、震度５の地震がありました。夜は、大雨で村水道は使えなくて、今でも始まりを覚えています。出会う人、出会う人、私が何も言わないうちに「大丈夫だよ。」「大丈夫だからね。」とほとんどの方が言ってくださいました。どんなに安心したか・・・。あれから一年足らず。あっという間でしたが、今でも「大丈夫だよ。」のフレーズが心に残っています。鮫川村の風景は、美しいです。季節によって田畑や山の色が変わり、鳥が鳴き、風を感じて一年経った今は、さらに美しいと思っています。それは、この風景の中に一生懸命に働く人を知ったから。とても気持ちの良い人々を知ったからだと思います。

「ふくふくの縁」の原稿を書く時は、どうやったら思いが伝わるかと頭を悩ませていました。最後の原稿を書いている今、たくさんの事が頭に浮びます。「ふくふくの縁」は皆さんへのラブレターだったのかもしれません。最初から最後まで優しかったです。本当にありがとうございました。いつまでもいつまでも、お元気で。

（文／原倫子）

情報の泉 わくわく WAKU-WAKU

募集・案内

●東白クリーンセンターからのお願い　東白クリーンセンターは、皆様の家庭から出たゴミのうち、燃えるごみは焼却処理を、缶や不燃物の一部は破砕処理を行っています。その際、スプレー缶や卓上コンロ用ガスボンベに中身が残っていた場合、破砕処理で発生した火花がガスに引火して爆発事故が起きる場合があります。クリーンセンターでは、処理作業をする際には手選別で中身の確認を行っています。爆発により事故や火災が発生し施設が損傷した場合、ごみの処理が出来なくなり、多くの皆様の生活に支障をきたすことになります。また、作業員の人命に関わることになるので、もう一度「ごみ分別用おしらせ」をご覧いただき、ごみの出し方のルールを徹底してください。／注意点…卓上コンロ用ガスボンベや殺虫剤、整髪料スプレー缶は、使用後は必ず缶に穴をあけて中身を空にしてから指定の袋に入れて燃えないごみの収集日に出してください。／問い合わせ…東白クリーンセンター☎43-0378、村地域整備課環境係☎49-3196

●未登録の銃砲・刀剣類を発見された方は登録を受けてください　未登録の銃砲・刀剣類を発見した場合は、次の手続きをしてください。／発見した場合…①発見届出＝発見した場合は、最寄りの警察署に発見届出をしてください。／②登録手続き＝登録審査



まつざき　きよのり
松崎　清訓さん(21歳)
[西山字水口在住]

誕生月　平成２年８月
血液型　Ｏ型
星　座　おとめ座
趣　味　スポーツ

村外から人が来るような村になってほしいですね。

■仕事はどんなことをしていますか？

とび職で足場掛けの仕事をしています。

■仕事で心がけていることはありますか？

足場を使う業者の方とコミュニケーションをとりながら、作業しやすい足場を掛けるように心がけています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？

休日は夫婦で買い物に出かけることが多いですね。

■これからチャレンジしてみたいことはなんですか？

今の足場掛けの仕事を勉強して、後々は自立して自分の会社を持ちたいです。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？

自然豊かで温かい雰囲気ですね。ただ、空き店舗も増えて、少しさみしい感じがします。

■村に必要なもの、要望などはありますか？

若い人が働きやすい場所や村のイベントが増えてほしいです。今あるものを利用して、冬もイベントがあるといいと思います。村がさらに活気づいて、村外から来てくれる人がもっと増えてほしいです。

■

次は、関根千弥さん(西山字大平在住)の予定です。

学校だより

(第90回)

鮫川中学校 編
佐藤　勝久 校長
生徒 98人

第65回卒業証書授与式
28名の卒業生が学び舎をあとに



三月十三日に行われた卒業式。厳粛な中で行われ、二十八名の卒業生が学び舎を巣立ちました。

中学校の卒業式は、義務教育九年間の集大成としての思い出深い体験の場であり、地域の方々や保護者とともに卒業生の門出を祝う大切な行事です。厳粛で清新な気持ちを味わいながら行われました。

卒業生を代表して中川西光司さんが答辞を述べ、在校生を代表して新生徒会長の芳賀悠介さんが、感謝の気持ちや明るい希望、残された伝統を受け継ぎ、新たな決意を抱かせてくれる送辞を述べました。

生徒会総会開催

二月二十二日、生徒会総会が行われました。

「無言清掃のあり方は？」「購買部の開催日は？」など、これまでの実践が後退しないように、また新たな活動を模索してもらうために、いろいろな意見や質問が出されました。どの意見も貴重であり、きちんと検討することは間違いなく、とてもよい話し合い活動がなされました。



学校支援地域本部事業の一環
読み聞かせを行いました

地域のお話ポケットの方々による絵本の読み聞かせを、朝の十五分間を活用して一月～三月までに六回、各教室に出向いていただきました。



中学生といえども真剣な態度でお話を聞き入り、言葉の持つ意義深さを感じ取ることができました。

(文・写真　鮫川中学校)

TOPICS

農の復興を願う新酒が完成
純米吟醸酒「鮫川21」お披露目会

幻のコメ「農林21号」を100％使用した純米吟醸酒「鮫川21」がこのほど完成し３月16日、村農産物加工・直売所「手･まめ･館」でお披露目会が開かれました。

お披露目会には、「農林21号」を栽培している西山成苗組合（高野博光組合長）の組合員など関係者が出席。高野組合長が「復興への起爆剤になるようにと願った純米吟醸酒『鮫川21』が完成しました。今後も楽しんで飲んでいただけるお酒にしていきたい」とあいさつ。次いで大樂村長と製造元の藤田屋本店(棚倉町)・代表取締役の宗田利八郎さんが祝辞を述べ、復興への思いが詰まった新酒で乾杯し、じっくりと味わいました。


完成した「鮫川21」で乾杯する出席者


純米吟醸酒「鮫川21」…アルコール度数18度以上19度未満／内容量720ミリリットル入りで税込み1,250円






丁寧に植樹を行う卒業生ら

舘山公園に卒業記念植樹
村内小・中学校卒業生がシダレザクラを植樹

今年３月に卒業を迎えた小・中学生の卒業記念植樹は２月28日、青生野小６年生４人(男子２人、女子２人)と鮫川小６年生31人(男子15人、女子16人)、鮫川中３年生28人(男子16人、女子12人)が舘山公園で卒業記念植樹を行いました。

植樹作業に先立ち大樂村長が「根がつくようにやさしく丁寧に植樹してください。そして、十数年後、桜の花が見られることを楽しみにしてください」とあいさつしました。

子どもたちは、舘山公園西側にある「記念植樹エリア」にシダレザクラ５本を、十数年後きれいな花が咲くことを願って丁寧に植樹しました。

千葉県浦安市の幼稚園児からメッセージが届きました

千葉県浦安市の幼稚園からこのほど、さめがわこどもセンターにあたたかいメッセージが届きました。

メッセージは、「舞浜幼稚園」「みなみ幼稚園」「堀江幼稚園」「明海幼稚園」の４つの市立幼稚園の園児からで、「一緒にあそぼうね」「がんばってね」などあたたかいメッセージが届きました。

メッセージは、こどもセンター玄関入口に掲載してあります。




メッセージを読む先生と子どもたち

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号

0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［健康係］	49-3112
［住民係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館[FAX兼]（村歴史民族資料館内）	49-3106
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（鮫川保育園・鮫川幼稚園）	29-1010
	FAX 29-1012
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
手・まめ・館	49-2556
	FAX 49-2445
山王の里	48-2848
	FAX 29-2033

◆お知らせ１

税務

軽自動車税の減免について

平成24年度軽自動車税の納付書は、4月13日(金)に発布します。

軽自動車税については、自動車税(県税)と同様、身体あるいは精神に障害がある方で、一定の要件に該当する場合は、申請により軽自動車税が減免されますので、4月25日(水)までに手続きを済ませてください。なお、自動車税との併用はできませんのでご注意ください。

■**問い合わせ** 村総務課税務係 ☎49-3111

環境

畜犬登録・狂犬病予防注射を実施します

平成24年度畜犬登録および狂犬病予防注射を次により行います。

期日 4月16日(月)～19日(木)の4日間 ※実施場所・時間などについては、回覧文書でお知らせします。

対象 平成24年4月16日現在で、生後91日以上の犬

注意 狂犬病予防注射の集合注射は、年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。

■**問い合わせ** 村地域整備課環境係 ☎49-3196

浄化槽設置者に補助金を交付します

家庭の台所や風呂などからの生活排水は、河川の水質汚濁の主な原因となっています。

村では、台所、風呂、トイレの排水を同時に処理する「合併処理浄化槽」の設置を推進し、設置者に対し補助金を交付しています。

今年度の交付枠は15基となっていますので、浄化槽の設置を計画されている方は、お早めに問い合わせください。

また、震災などの自然災害により合併処理浄化槽が破損し、修繕ができないため浄化槽を入れ替え、既存の浄化槽を適正に処理する場合、9万円を上限に補助金を上乗せ交付します。ただし、浄化槽管理者の過失による破損を除きます。

補助限度額

5人槽…332千円、7人槽…414千円、10人槽…548千円

上乗せ補助限度額

単独処理浄化槽撤去…9万円、くみ取便槽撤去…6万円、入れ替えに伴う合併処理浄化槽撤去9万円

■**問い合わせ** 村地域整備課環境係 ☎49-3196

予防接種

ワクチン接種費用を一部助成します

子宮頸がんを予防する「子宮頸がん予防ワクチン」、乳幼児に重い後遺症を残すといわれている細菌性髄膜炎を予防する「ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン」の接種費用を一部助成します。任意の予防接種ですので、希望される方は医療機関と相談しながら接種してください。

助成期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

医療機関 東白川郡内（大木医院、あらまちクリニック、木村医院、塙厚生病院）および県内医療機関

対象者 子宮頸がん予防ワクチン…中学1年生～高校1年生までの女子／ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン…2か月～5歳児未満

■**問い合わせ** 村住民福祉課健康係 ☎49-3112

*毎月８日は**歯**の日*

毎月８日は「歯の日」として、むし歯予防を防災無線で呼びかけます。

４月放送を担当するのは、

村学校給食センター
芳賀　公美栄養技師

◆お知らせ２

平成24年度 住民健康診査(がん検診など)の申し込みについて

平成24年度の住民健康診査は７月に実施します。各種検診については、３月30日付で「さめがわ健康だより第198号」「平成24年度がん検診等申込書」「介護予防調査票(65歳以上)」を該当世帯に配布します。内容をご覧いただき、家族で受診できる検診を確認してお申し込みください。

申込検診項目　結核検診、肺がん検診、喀たん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診、肝炎検診

提出方法　組長さん、区長さんを通じて４月16日(月)までに役場住民福祉課に提出してください。組外の方は役場に直接届けてください。

提出物　「平成24年度がん検診等申込書」「介護予防調査票(65歳以上)」
※受診を希望しない方でも提出のご協力をお願いします。

その他　▶国民健康保険の特定健診および後期高齢者健診は、該当の方全員に受診録などを住民検診前に配付します。▶乳がん検診は完全予約制のため、７月ごろに申し込みの周知をいたします。

■**問い合わせ**　村住民福祉課健康係　☎49-3112

日本脳炎の予防接種の時期が拡大されています

日本脳炎の予防接種は、平成７年６月１日～平成19年４月１日生まれで、１期・２期の接種が終わっていないお子さんは、20歳未満までに接種できるようになっています。平成24年度に３歳および８・９歳になるお子さんには、個別に通知いたします。

■**問い合わせ**　村住民福祉課健康係　☎49-3112

NPO法人明日飛子ども自立の里 あそびスマイル祭り開催

春休み、室内で楽しく遊びませんか。参加お待ちしています。申し込み不要で参加は無料です。

主催　NPO法人明日飛子ども自立の里

日時　４月２日(月)午前10時～午後３時

場所　村保健センター

対象　子ども､保護者その他村民の皆さん

内容　①ペットボトルボウリング…２㍑のペットボトルをボウリングのピンに仕立てペットボトルを倒します／②スティックタワー…トイレットペーパーをカラフルに仕立て高く積み立てるゲームです／③キックブレイク…積み重ねた10個の箱をボールをけって倒すゲームです／④ティッシュブレイク…ティッシュペーパーの箱がモグラたたきに変身！何回たたけるか勝負／⑤パスシュート…みんなで協力してボールをゴールに入れるゲームです。

■**問い合わせ**　NPO法人明日飛子ども自立の里☎49-3344

鮫川村街頭犯罪発生状況
棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	0
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	0
無施錠	0	0
ガラス破り	0	0
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	0
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	0	0

発生件数：２月26日～３月25日
累計：１月１日～３月25日

◆いきいき健康通信

文／村住民福祉課健康係　蛭田みゆき保健師　☎49-3112

過敏性腸症候群を知っていますか

通学や通勤時、大事な試験や会議などで急に腹痛がしたり、トイレに行きたくなったりすることはありませんか？

食物のアレルギーや腸の疾患がない場合には、過敏性腸症候群の可能性があります。

■過敏性腸症候群とは

主に大腸の運動および分泌機能の異常で起こる病気の総称です。便秘や下痢などの便通異常と腹痛やお腹が張るなどといった腹部症状がありますが、レントゲン検査・内視鏡検査をしてもはっきりとした病変はありません。

■症状

▼下痢型…腸の運動が活発になり、腸の内容物が急速に運搬されることで、慢性の下痢が続きます。

▼便秘型…腸の運動が低下することで、腹痛や便意があっても便が出にくく、硬い便になります。

▼下痢便秘交替型…下痢と便秘症状が交互に繰り返されます。

■原因

▼脳（ストレス）

腸には脳と同じ神経が多く分布し自律神経でつながっています。「脳腸相関」という密接な関係にあり、脳で感じたストレスが自律神経を介して腸に伝わり、腸の運動異常を引き起こし、また腸の不調も自律神経を介して、脳にストレスを与えるといった互いの不調が影響し合い、悪循環を形成してしまいます。

▼食生活の乱れ

食事の回数や時間、量などが不規則になると、栄養が不足し腸からの消化酵素がうまく働かないために症状が起こります。また、糖分や塩分、脂質の多い食物も腸に負担をかけます。

▼アルコール・カフェイン

アルコールは腸の粘膜をむくませ、下痢を引き起こしやすくします。カフェインは摂り過ぎると症状を悪化させることがあります。

▼喫煙

たばこに含まれる有害物質が腸を刺激し、過剰運動を引き起こします。

主な原因を挙げましたが、原因は一つではなく、さまざまな原因が重なり合って症状が引き起こされていることが多いものです。

■過敏性腸症候群を予防するためには

ストレスや生活の乱れが原因となるため、自分の生活を振り返り、思い当たる原因をできる限り取り除いていくことによって、改善や予防できることがあります。

また、野菜や果物、海藻類に含まれるビタミンやミネラルはストレスに対する効果を、食物繊維は腸の働きに対する効果を期待できますので、積極的に摂るようにしましょう。

四月は生活環境や生活時間も変化しやすいため、ストレスを感じやすくなり、腸への影響が大きい時期といえます。生活環境と合わせて腸の環境を整え、快適な新生活を送りましょう。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎49-3106



小さき花
（加島祥造・金澤翔子著、小学館）
加島祥造の書いた詩句に、金澤翔子がその詩で感じた言葉や字を自由に書いて合わせた一冊。金澤翔子はダウン症でもある書家。人の目を求めない生き方、命の輝きを伝える二人の不思議なパワーを味わってみてはいかがですか。



阪急電車
（有川浩著、幻冬舎）
関西の私鉄、阪急今津線が舞台。各駅ごとにそれぞれのエピソードを抱えた人々が乗り降りしていく。16編のストーリーが少しずつ、自然に重なり合っていく連鎖短編集です。

火	水	木	金	土
3 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	**4** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●保育始め[こ]	**5** ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	**6** ●各小・中学校入学式	**7**
10 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	**11** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**12** ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	**13** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**14**
17 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●畜犬狂犬病予防注射	**18** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…15:30～／鮫川小 ●畜犬狂犬病予防注射	**19** ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●畜犬狂犬病予防注射 ●中学3年生修学旅行（～21日）	**20** ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●農業委員会総会 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**21**
24 ●ポリオ投与	**25** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●日常生活訓練事業（やまぶきの会）…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…15:30～／鮫川小	**26** ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**27**	**28**
5/1 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●軽自動車税納期限	**2** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…15:30～／鮫川小	**3** *憲法記念日* ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**4** *みどりの日* ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**5** *こどもの日* ㊡大木医院（矢祭町）☎33-2424
8 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	**9** ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…15:30～／鮫川小	**10** ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**11**	**12**

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（２月届け出分・敬称略）



森田（もりた） 蒼生（あおい）・男
平24.1.26生
住所…世々麦
保護者…智史・久恵



鈴木（すずき） 海凛（かいり）・男
平24.2.15生
住所…大犬平
保護者…淳一・愛深



遠山（とおやま） 結唯（ゆい）・女
平24.2.16生
住所…大塩
保護者…博勝・久美

●おくやみ申し上げます

（２月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
岫長	北條 ヒサ	2. 9	84歳
中沢	円谷 政男	2.13	93歳
水口	田子 正美	2.14	91歳
戸草	松崎 昭義	2.21	81歳

●人の動き

3/1現在・（ ）は前月比

人口	4,056人	（－ 2）
男	2,011人	（－ 3）
女	2,045人	（＋ 1）
世帯	1,171戸	（± 0）

●寄付・寄贈

（２月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]……北條裕幸（岫長） 円谷建一（中沢） 田子聡（真坂） 松崎文男（戸草） 村老人クラブ連合会（青戸學男会長）

■ひだまり荘に[電動ベッド]…菊地清榮（彦次郎）

■ひだまり荘に[タオル]…東京鮫川会員・大塚キヨ（旧姓松本・鍬木田出身） 村老人クラブ連合会（青戸學男会長）



タオルを手渡す会員の皆さん

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■このたびの人事異動により、広報担当を卒業することになりました。この５年間、カメラを片手に村内を駆け回って、多くの人たちと出会うことができ、貴重な経験をさせていただきました。みなさんのご協力により、毎月広報紙を発行することができました。ありがとうございました。引き続き、後任の広報担当もよろしくお願いいたします。（須藤）

4 生活情報カレンダー 月1日～5月12日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
4/1 ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 *第１日曜日は環境美化の日*	2 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
8 *歯の日* ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263	9 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●入園式[こ] ●３～４か月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
15 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468	16 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●畜犬狂犬病予防注射
22 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145	23 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
29 *昭和の日* ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528	30 *振替休日* ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
6 ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 *第１日曜日は環境美化の日*	7 ●図書館休館日 ●トレセン休館日

㊡＝休日当番医　［歴］歴史民俗資料館



長遠寺のしだれ桜（赤坂中野字道少田）



官沢の地蔵様のしだれ桜（赤坂西野字官沢）



二段田のひがん桜（西山字二段田）



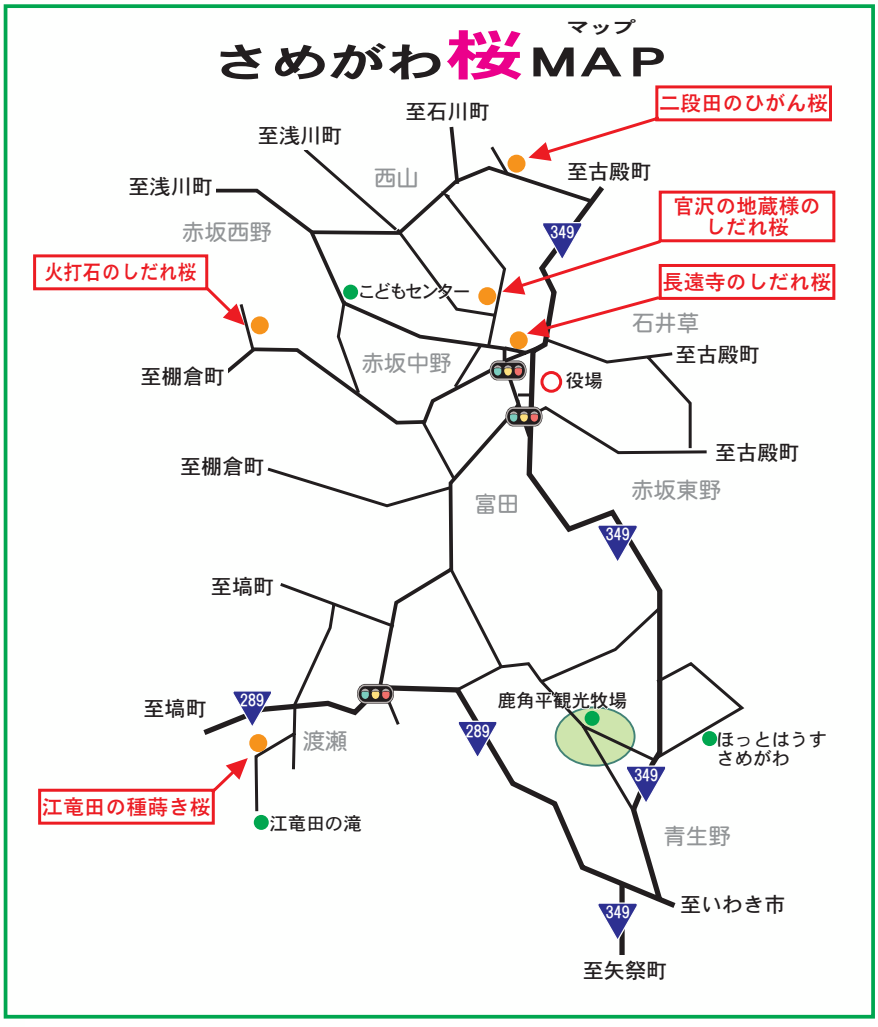
江竜田の種蒔き桜（渡瀬字前ノ沢）



火打石のしだれ桜（赤坂西野字火打石）

さめがわの桜を見に行こう

春の訪れを告げるさまざまな花たち。
なかでも、桜は毎年見事な花を咲かせ、
私たちの心を癒してくれます。
ここでは、村内で咲き誇る桜の名所
（福島県緑の文化財に指定された桜）
をご紹介します。
桜の名所を一度訪れてみませんか。



広報 さめがわ　No.696［平成24年4月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場企画調整課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3115
■FAX 0247-49-3363　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp